

# 設立10周年を迎えて

所長 中屋 英治

暖地園芸センターは、昭和62年に本県中南部地域の特性を生かした収益性の高い農業の発展と振興を目指し、新しい時代の要請に対応し得る花き、ウメなど特産品目とバイオテクノロジーを主とする試験研究機関として設立されて以来、本年6月をもって10周年を迎えることになりました。この間、県当局をはじめ内外の関係機関、地元のご支援等により諸施設の整備も進み、この度本館西隣に園芸技術研修館が完成する運びとなり、関係各位に深く感謝申し上げる次第であります。

また、試験研究におきましても歴代職員のご尽力と生産者等のご協力により、特産花き、野菜の優良品種育成や高品質生産技術の開発に成果をあげるに至り、農家の支援技術の開発に一層の期待が寄せられているところであります。

しかし、近年の農業情勢は、国際化や農業従事者の高齢化の急速な進行に加え、消費者ニーズの多様化、国民の環境への関心の高ま

り、更に国内外の産地間競争等が進展している状況にあります。このため、生産現場等においては、高品質生産や農作業の快適化の技術確立はもとより、今後一層、環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業(環境保全型農業)の推進及び生産性や競争力の強化に資する、迅速かつ的確な技術情報の対応強化が課題となってきました。

このような情勢に鑑み、本県の21世紀農業振興計画では「環境と調和した収益性の高い農業」を基本方向としており、国際化の潮流を踏まえ技術革新(High Technology)を背景に、高品質(High Quality)で安全、健康(Healthy)な農作物を供給していく「3H農業」の展開を目指すこととなっています。私どもセンターも県農政の方針に応え、特に、生産現場に直結した技術開発に留意して、心機一転取り組んで参りたいと考えていますので、今まで同様よろしくご支援の程をお願い申し上げます。

